

投資事業評価調書(新規)

課室名	砂防課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	砂防課長 西川 昌一 (尾崎 幸忠)	内線	4459 (4465)
-----	-----	---------------------	-----------------------	----	----------------

事業種目	砂防事業	事業名	事業区間	総事業費	億円
		通常砂防事業 聖谷川	佐用郡上月町 西大畠		約2.0
所在地				着工予定年度	完成予定年度
佐用郡 上月町 西大畠				H13年度	H16年度
事業目的			事業内容		
土石流災害対策 ・土石流危険渓流に該当し、流域の荒廃が進み土砂災害の危険性が高まっているため、対策ダムを設置して地域住民の人命・財産を保全する。			・スリットダム工 1基 (H=10.0m, L=50m)		

評価視点	
(1)必要性 安全・安心	<ul style="list-style-type: none"> ・聖谷川は土石流危険渓流である。 ・流域の荒廃は進んでいるが、砂防設備は未設置である。 ・保全対象:人家=10戸、公共施設=公民館,国道179号 ・生活道路である国道が被災すると一時的に地域が分断される。
地域の活性化	<ul style="list-style-type: none"> ・砂防ダム工事により土砂災害が軽減され、下流域の有効な土地利用が図れるようになる。
快適性・ゆとり	<ul style="list-style-type: none"> ・ダム設置により土石流を止め、下流域への土砂氾濫を防止することにより生態系の破壊を軽減する。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・国及び県に対して地元から事業化への要望が強い。 ・過疎対策法対象町に該当するため、砂防ダム整備により地域間格差の是正に寄与する。
(2)有効性・効率性 有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・人命及び財産(人家10戸)が保全されるので、事業実施による投資効果は大きい。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・地元からの要望が強く、事業化への協力体制づくりは十分確保できている。 ・地元では、土砂災害に対する認識度は高い。
(3)環境適合性	<ul style="list-style-type: none"> ・事業に伴う地形の改変を最小限にとどめ、工事による法面については緑化を図るなど環境保全に努める。 ・スリットタイプにすることにより、渓流の上下流の連続性を確保し、生態系の保全に努める。
(4)優先性	<ul style="list-style-type: none"> ・土石流の被害想定区域には人家10戸と兵庫県と岡山県を結ぶ国道179号がある。流域の状況は、山腹崩壊及び溪岸・溪床浸食が激しいので土砂災害の危険性が高く、早急な対策が必要である。

評価の結果	着手妥当	左の理由	審査の結果、事業着手が妥当と認められた。
-------	------	------	----------------------